新型コロナウィルス感染拡大下における JAグループ各組織における事例

令和２年５月14日
全国農業協同組合中央会

■　JAグループでは、政府により示されている「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和２年５月４日変更）に従い、組合員・役職員をはじめとする国民の生命・健康の維持を最優先としたうえで、国民にとって不可欠な食料の安定供給に支障をきたすことがないよう最善の対応を行っているところである。

■　また、新型コロナウイルス感染拡大にともなう農業・JA・組合員・役職員に係る状況の把握、対策の樹立・推進、情報の収集・提供等についても、本会会長を本部長として役員により構成する「JAグループ災害対策中央本部」（令和元年７月４日制定、常設）において対応することを、5月12日に開催した同本部幹事会において確認している。

■　こうしたなか、JAグループ各組織が、農業と地域社会に根ざした組織として、社会的役割を誠実に果たすために取り組んでいる状況について、その事例の一部を紹介する。

目　次

(1) 食料の安定供給

(2) 生産者支援
　①農業労働力確保のための取り組み
　②生産者への経営サポート
　③消費拡大対策

(3) 地域への貢献

(4) 感染拡大を防ぐ取り組み

(5) その他の多様な取り組み

(1) 食料の安定供給①

〇コロナ禍で事業継続が厳しいなかでも、選果場や出荷業務を継続し、食料の安定供給を実現

- JAしまね雲南地区本部、Aコープ西日本（島根県ほか）

  在宅消費者向けに「楽天市場」で地元農産物とエーコープ商品を詰め合わせた応援セットの販売

- JAみい（福岡県）

  園芸流通センターなど集出荷施設で、感染リスクを減らすため生産者の協力も得て勤務体制を見直し安定供給体制を強化

- ホクレン（北海道）

  JAや乳業メーカーと連携し、減少した飲用向けなどの生乳を北海道だけでなく全国の乳製品工場で長期保管できる乳製品に加工する等、生乳生産を減らすことなく供給体制を構築

(1) 食料の安定供給②

〇各地のJAにおいて、在宅消費者や買い物困難者に対して宅配や移動店舗車により食料確保を支援

- JAファーマーズ安中店[直売所とスーパーの複合店舗](群馬県)

  宅配サービスを拡大
- JA山口県周防大島統括本部（山口県）

  外出自粛、店舗臨時休業のなか、JAの移動店舗車が活躍。1週間で管内120か所を巡回
- JAあつぎ（神奈川県）

  移動販売車利用者に給食用野菜をプレゼント
- JA静岡市女性部（静岡県）

  フードバンクに食料寄贈

(1) 食料の安定供給③

〇休校中の児童、生徒、学生やその家族等に向けて米等を寄贈

- JAあいち尾東（愛知県）

  休校中の児童の栄養を支えるため、地元自治体と協定を締結し、就学援助児童に米10kgを贈呈

  また、走る子ども食堂に食材を提供

- JAふくしま未来（福島県）

  自宅待機学生をお米で応援、地元大学学生に米を贈呈

- JAグループさいたま（埼玉県）

  地元農産物を原料とするレトルトカレーを子ども食堂に寄贈

- JA新潟市（新潟県）

  臨時休校で食費がかさむ母子家庭を支援するため、フードドライブ（必要な人に余った食品を寄付）を実施

(2) 生産者支援①：農業労働力確保のための取り組み

〇来日できない外国人実習生に代わり、休業・営業縮小の地元企業から農業への雇用受け入れマッチングを実施。JA職員も体制をつくり生産者を支援

- JA佐久浅間（長野県）

  JAが地元旅館業組合と連携し、休業となった旅館従業員等を農業生産の現場に受け入れ、労働力を確保

- JA嬬恋村（群馬県）

  作付けを維持するためにJAが窓口となってSNSやチラシ等で募集し地元旅館・飲食店従業員等を農業生産の現場に受け入れ

- JA鳥取中央農業人材紹介センター（鳥取県）

  休業となった地元企業や旅館従業員を対象に、作業シーズンであるラッキョウ共同乾燥施設など農業関連の仕事を紹介

(2) 生産者支援①：農業労働力確保のための取り組み

- JAゆうき青森（青森県）

  ＪＡ職員がボランティアとして、収穫期の長芋生産者に対し、掘り起こした長芋の土を落とし、スチールコンテナへ入れる作業を実施
- JA梨北（山梨県）

  職員のスプリット（交代勤務）制導入にともない、営農支援を最優先するため県内金融機関として初めて一部店舗を閉鎖し、営農指導体制を確保

(2) 生産者支援②：生産者への経営サポート

〇新型コロナウィルスの影響により農業経営が厳しくなるなか、事業全体を通じて、また、各地でさまざまな農業経営支援の取り組みを展開

- JAバンク

  新型コロナウイル感染拡大により影響を受けている方に向けた低利融資等の取り扱いを開始。JAバンク店舗にて相談を受け付け（GW期間中も対応）

  JAグループ群馬（群馬県）

  新型コロナウィルスの影響で悪化した農業経営に対応するため、緊急対策資金を創設。中央会・連合会による利子補給等により生産者の負担を軽減

  JAバンク神奈川（神奈川県）

  新型コロナウィルスの影響を受けた組合員を対象に「災害救済資金」の取り扱いを開始。無利息・無担保・保証料無料で限度額500万円以内、期間原則5年以内

  ※ 群馬・神奈川以外の県域においても、随時、生産者支援に向けた取り組みを実施

- JA共済

  新型コロナウイルス感染症の被患を「特定感染症」保障の対象に含めるとともに、医療機関以外での療養を入院保障の対象とした。また、共済掛金の払込期限の延長等、共済契約上の特別措置等を実施。

(2) 生産者支援③：消費拡大対策による生産者支援

〇インバウンド、外食、給食、各種行事での需要減少により農産物価格が低迷し農業経営が厳しくなるなか、各地でさまざまな消費拡大の取り組みを展開

- JAあいら伊豆（静岡県）
  学校給食向け野菜を直売所で販売し、新鮮さをPRし完売
- JA津安芸（三重県）
  地元教育委員会が開催した学校給食食材販売会に学校給食向け野菜を納品
- JA会津よつば(福島県)、JAグリーン近江(滋賀県)、JAしまね(島根県)など
  ユニークな農産物詰合せセットの宅配で、農家とともに消費者のステイホームを応援

(2) 生産者支援④：消費拡大対策による生産者支援

〇インバウンド、外食、給食、各種行事での需要減少により農産物価格が低迷し農業経営が厳しくなるなか、JAグループ全国機関においてもさまざまな消費拡大等の取り組みを展開

- JAグループ全国機関の連携した取り組み

  産地における消費拡大の取り組み推進や、ふるさと納税との連携およびJAタウンを活用した国産農畜産物の消費拡大の取り組みを実施予定

- JA全農

  提供ラジオやTV番組、SNS等を活用した消費拡大・プレゼント企画・レシピコンテストの実施

  （公式Twitterにてラッシーのレシピを公開したところ「いいね」が約37万件（5月8日現在）と注目）

  全国の厚生連病院への食事支援（パックご飯・レトルト牛丼・カレー計26,300食分）

- JA全中

  「がんばろう！日本の畜産・酪農応援キャンペーン」の拡充

  関係団体等と連携した花き・牛乳などの消費拡大の取り組み

(2) 生産者支援③：消費拡大対策による生産者支援

〇イベント等の広報活動ができないなか、それに代わる手法で消費拡大の取り組みを展開

- JA金沢市（石川県）
  生産者が例年行っている広報活動が中止となったため、
  YouTubeを通じて全国に地元野菜を紹介する取り組みを開始

- JAおきなわ（沖縄県）
  記念日（黒糖の日：5月10日）のイベント（中止）に代わって、
  黒糖を使ったレシピの紹介や栄養素についてプレスリリース

(3) 地域への貢献①

〇休業・営業縮小の地元企業従業員への働き場所の提供、衛生用品の無償提供、JA施設を活用した地元住民向けサービス等を展開

- JAなんすんいちご部会（静岡県）

  かつて資金確保に協力してくれた飲食店が営業縮小となったため、部会員の農場で飲食店従業員を雇用

- JAみっかび（静岡県）

  JAの有線放送で、休校中の地元小中学校の先生たちから生徒・児童へのメッセージの放送を開始

- 全国各地のJA女性部

  手作りマスクの寄付が広がっている。

  医療機関への飲料提供等も行われている。

- 全国各地のJA青年部

  子ども食堂等へ食材を無償提供

(3) 地域への貢献②

〇地元と共同してステイホームを応援

- JA高知県（高知県）
  休業となっている休園中の地元観光植物園とコラボした癒しの動画で観光気分を提供
- JA西三河（愛知県）
  JAが管理する地元のバラ園の様子を、外出自粛中も自宅でバラ鑑賞できるようフェイスブックで発信

(4) 感染拡大を防ぐ取り組み①

〇医療従事者や地域住民への感染拡大を防ぐため、農業資材を活用するなどJAならではの取り組みを実施

- JAうつのみや（栃木県）

  医療用防護服の製作用として、約750着分の農業用ビニールシート（マルチ）を宇都宮市へ提供

- JA道東あさひ（北海道）

  牛舎等を消毒するためJAが保有する専用発生装置で作った消毒液を地元住民に無償配布

- JA大阪泉州「農産物直売所こーたり～な」（大阪府）

  会員手作りのマスクを売場を広げて販売。飛沫防止のためのビニールシート設置や、レジに並ぶ際に間隔を保つためのテープ貼付も実施

(4) 感染拡大を防ぐ取り組み②

〇組合員等のJA来訪者への感染拡大を防ぐため、農業資材を活用するなどJAならではの取り組みを実施

- JAマインズ（東京都）

  農業用ビニールハウスの建設時に余った切れ端を活用して、飛沫を防ぐための間仕切りとする取り組みを実施。費用を０円（アクリル製のスクリーンを全店舗に設置した場合200万円以上）に抑え、かつ短期で設置

- JA埼玉中央（埼玉県）

  窓口や直売所レジ、職員のデスク等に、農業用ビニールを活用した間仕切りを設置。間仕切りのポールにはのぼりの棒や自宅で使わなくなった布団干しを活用。社会的距離をつくるため、来店者用ソファにJAバンクキャラクター「よりぞう」のぬいぐるみを設置

(4) 感染拡大を防ぐ取り組み③

〇JA役職員への感染拡大防止のため、農業資材などを活用。また、職員のストレスを軽減し業務の効率化を目指す施策も実施

- JA福岡市東部（福岡県）

  余った農業用マルチシートやハウス用のパイプなどを有効利用して、飛沫感染予防のついたてを自作

- JAふくしま未来（福島県）

  HPにて新型コロナウイルス感染症に関する特設ページを開設。組合員やJA役職員へ感染予防を呼び掛け

- JA秋田ふるさと（秋田県）

  全職員の３割が子育て世代であり、休校による子供の世話のために休暇や時短を行う職員が多くなることを見込み、職員のストレス軽減と業務効率化のためのサポートとして営業時間を短縮

(5) その他の多様な取り組み

〇上記のほか、各団体で多様な取り組みを展開

- 日本農業新聞

  新型コロナウイルス感染拡大による影響や課題、支援の取り組み等を連日掲載

- 家の光協会

  『家の光（マスクの作り方）』や『ちゃぐりん（工作・手芸・牛乳レシピ）』の記事活用動画をYouTubeチャンネル「家の光協会」で配信

- 全国厚生連

  医療体制維持に向けて厚生労働大臣等に対し要請活動を実施

- 農協観光

  休業対策を活用したJA・農業生産現場における社員の勤労促進